

分担研究報告書

研究の推進：研究開発・国際比較

AMED, 厚労省等の公的研究

研究分担者 深水 圭 久留米大学

研究分担者 田村功一 横浜市立大学

研究要旨：これまで日本腎臓学会員が公的資金獲得データの収集を行った。2008年から2022年までの間、AMED51件、JST71件、厚労科研72件であった。総獲得研究資金は93億4669万円、AMED51億688万円、JST5億8146万円、厚労科研36億5836万円であった。以前調査した件数、金額と比較しても高額であった。

A. 研究目的

これまで日本腎臓学会員が公的資金を獲得してきたが、一望して経年的にどの程度資金を受けているか、実情が見えてこなかったことから、経年的にデータを蓄積する必要があり、社会にも広くCKD研究開発について認識していただくきっかけとなると考えられるため、今回データの収集を行った。

B. 研究方法

2008年から2022年までに獲得したAMED、厚労科研、科学技術振興基金(JST)について、日本腎臓学会の会員に対してメーリングリストにてアンケートを行った。

(倫理面への配慮)

該当なし

C. 研究結果

これまでの獲得数はAMED51件、JST71件、厚労科研72件であった。総獲得研究資金は93億4669万円、AMED51億688万円、JST5億8146万円、厚労科研36億5836万円であった。内訳は病態解明68件、CKD対策24件、難治性疾患事業22件などであった。

D. 考察

これまでの獲得数、研究費は93億円程度であった。以前調査した件数、金額と比較しても高額であった。

E. 結論

日本腎臓学会会員のAMED、JST、厚労科研獲得数、獲得資金を調査した。

G. 研究発表

1. 論文発表

1) Tsukamoto S, Morita R, Yamada T, Urate S, Azushima K, Uneda K, Kobayashi R, Kanaoka T, Wakui H, Tamura K. Cardiovascular and kidney outcomes of combination therapy with sodium-glucose cotransporter-2 inhibitors and mineralocorticoid receptor antagonists in patients with type 2 diabetes and chronic kidney disease: A systematic review and network meta-analysis. *Diabetes Res Clin Pract*, 194:110161, 2022.

2. 学会発表

1) 田村功一. 血圧管理と腎疾患制御からみた糖尿病性腎臓病の最適治療とSGLT2阻害薬の意義. 教育講演17. 第95回日本内分泌学会学術総会(大分), 2022年06月02-04日

H. 知的財産権の出願・登録状況

該当なし